

ATELIER MUJI 『フランスの、さわってたのしむ絵本読書室』展

ATELIER MUJI (東京都：無印良品 有楽町内) は、2018年6月29日(金)～2018年9月2日(日)まで、『フランスの、さわってたのしむ絵本読書室』展を開催いたします。



ここは、さわってたのしむ小さな読書室。

目のみえない子どもたちのためにフランスの絵本工房で手作りされた、とびきり素敵なさわる絵本たちと、大きくて愉快的さわるポスターがあります。どちらも、両手や五感をとぎすまして、やさしくゆっくりと楽しんでください。そのあとは、なぜかだれかと話したくなるかもしれません。さわってたのしむ絵本は、いつでもどこでもだれとでも、気どらない友達のように寄り添って、そして、どこかへ連れていってくれるのです。

ATELIER MUJI

【基本情報】

会場 | 無印良品 有楽町 2F ATELIER MUJI

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-8-3 インフォス有楽町 無印良品 有楽町 2F

会期 | 2018年6月29日(金)～2018年9月2日(日)

開場時間 | 10:00-21:00 (入場無料)

お問合せ | <http://www.muji.com/jp/events/ateliermuji/>

主催 | 無印良品

空間・会場構成 | 山岸綾(サイクル・アーキテクト代表・建築家)

グラフィックデザイン | 大内かよ(OK デザイン室)

施工 | bibariki

翻訳 | 大場千穂

協力 | レ・ドワ・キ・レーヴ (夢見る指先)、広瀬浩二郎 (国立民族学博物館准教授)

企画・運営 | 株式会社良品計画 生活雑貨部 企画デザイン室・無印良品 有楽町 ATELIER MUJI

絵本とポスターが生まれたところ

フランス・ブルゴーニュ地方のタランという街には、Les Doigts Qui Rêvent、(レ・ドワ・キ・レーヴ)、日本語で「夢見る指先」という意味をもつ、目の不自由な子どもたちのための絵本を作る工房があります。1993年に非営利団体として設立されてから、クリエイターや専門家、福祉作業所やボランティアが協働し、たくさんの人たちがアイデアやこころを込めて一冊一冊手で丁寧に作っています。美しく愛らしくさわって慈しむ絵本たちが、今日もここから生まれています。フランス語と英語の公式サイトから、絵本を買う事ができます。

URL | <http://www.ldqr.org>



【関連イベント】

「ギャラリーツアー」

キュレーターや運営スタッフと一緒に展示を体験します。参加ご希望の方は、当日ギャラリーにお集り下さい。

開催日時：2018年7/2(月)、7/8(日)、7/23(月)、7/30(月)各日 11:00～(30分)

会場：無印良品 有楽町 ATELIER MUJI

定員：なし

参加費：無料

「トーク：目に見えない世界を歩く」

さわることで開く感性や知性について、文化人類学者が語ります。

開催日時：2018年8月1日(水) 18:00～19:30(90分)

会場：ATELIER MUJI

定員：40名

参加費：無料

講師：広瀬浩二郎(国立民族学博物館准教授)

「ワークショップ：さわる！世界旅行」

文化人類学者と一緒に、さわることによって新しい世界を巡る不思議な旅にでかけよう。

開催日時：2018年8月5日(日)

第1回 10:30～11:30(60分) / 第2回 13:30～14:30(60分)

会場：ATELIER MUJI

定員：各回16名

参加費：無料

対象：小学生以上(10歳以下のお子様は保護者同伴をお願いします)

講師：広瀬浩二郎(国立民族学博物館准教授)



広瀬浩二郎(国立民族学博物館准教授)

1967年東京都生まれ。13歳の時に失明。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もがたのしめる博物館)の実践的研究に取り組み、「さわる」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施している。『目に見えない世界を歩く』(平凡社新書)など、著書多数。

イベント申し込み、詳細については ATELIER MUJI 公式サイトをご覧ください。

ATELIER MUJI 公式 Web サイト | <http://www.muji.com/jp/events/ateliermuji/>

本展へのご取材・ご掲載に関するお問い合わせ (株)良品計画 生活雑貨部企画デザイン室：永田
TEL: 03-5208-8253 MAIL: info@ateliermuji.jp